

第2回 足羽川河川空間利活用促進懇談会 議事概要

日 時：平成20年8月27日（水）

場 所：AOSSA601会議室

出席者：別紙資料参照

- 堰ならびに激特事業での整備内容等についての補足説明を事務局より行い、それについて福原委員長の進行のもと意見交換を行った。

○ 委員からの主な意見

(1) 木製堰について

委員からの質問と県の回答、その他の主な意見は以下のとおり。

- ・ 増水時の安全性は大丈夫なのか。
→（県）増水時に撤去可能な構造である必要があることから、木製堰（養老川の西広板羽目堰の例）を提案している。
- ・ 事前に地元で話し合った際に「木製堰は設置期間が短く、運営上の採算割れの問題や、税金の無駄遣いになるのでは。」との意見もあった。
→（県）堰のコスト面と設置期間とは相反する関係にあり、そのバランスの中で県としては木製堰を提案している。
- ・ 地元に対し説明が不足している。地元で話し合う機会に県から説明に来てもらえないか。
→（県）要望があれば出向いて説明させていただく。
- ・ 利用面を考えると、8月の夏祭りの時期等に堰を設置した方が良いと思うが、出水期に堰を設置することは出来ないのか。
→（県）出水期間（6/16～10/15）は、通常は水量が少ないが、大雨が発生して洪水になりやすい時期であり、万が一の危険性を避けるため設置は行わない。
- ・ ラバー堰については、利便性がいくら良くても億単位の費用がかかるとなると住民は納得しないだろう。
- ・ 観光資源として堰の設置撤去自体をイベント化してはどうか。
- ・ 設置撤去の際の人材の確保の問題については、一般の人では難しく、とび組合などに協力依頼してはどうか。
- ・ アユの遡上に対して影響があるのではないか。
- ・ 堰以外にも、県庁周辺のお堀で船を浮かべたり、日野川合流点付近で船の利用を考えたりしてはどうか。

(2) 河川敷の利用について

- ・ イベントの駐車場をできるだけ確保してほしい。(花月橋下流左岸の) マレットゴルフ場を縮小するなどできないか。
→ (県) 逆にマレットゴルフ協会からは、広げて欲しい旨の要望を受けている。
- ・ 舗装路(遊歩道)をカーリング場として利用するなど、お金のかからない方法での利活用案を考えていきたい。
- ・ 新たに設置する桜堤区間への照明設置については、治水上の問題はないはず。設置して欲しい。
→ (県) 新たな盛り土区間以外であれば、治水上の影響は少ないが、それ以外にも維持管理や費用の問題もあり対応は難しい。
- ・ 右岸側についてももっと親水空間として整備して欲しい。

(3) その他の意見

- ・ 上流から流れてくるゴミ対策について、県の考えはあるのか。
→ (県) 上流の流域住民の協力等が必要であり、今後も上下流をつなぐお手伝いをしていきたい。
- ・ 除草については、管理事務所を設置するなどしてもっと取り組むべき。
- ・ 橋の下のホームレスについて県はどのように考えているのか。
→ (県) 実態を確認する。
- ・ 公園のトイレが、イベントの時などに詰まって汚れる。イベント時等には清掃頻度を増やして欲しい。
→ (市) 現状でも週2回清掃を実施している。イベント時には特に注意するように業者へ指示する。
- ・ 桜100選の看板を設置する予定はあるのか。
→ (県) 設置予定はない。伐採木等を利用して作成していただければと考えている。

(4) 分科会終了後の報告における会長等のコメント

- ・ 堰については、次回もどういうことで賛成または反対なのかを確認していく必要がある。
- ・ 分科会についても、次回以降公開で行うことを検討してはどうか。

○ 今後の予定

9月 9日(火) 全体会議(意見集約)

10月18日(土) パネルディスカッション(意見発表)